

Chattanooga Now

例年1月に海外派遣交流事業として、姉妹都市米国テネシー州チャタヌーガ市に遠野市の中高生(高校生は隔年)を派遣して いましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度に引き続き今年度も事業は中止となりました。そのような状況 の中でも、人々は交流を続けるため方法を模索したり、新たなプロジェクトに挑戦したりしています。現地関係者のインタビュー と、遠野高校の「これからの国際交流」をテーマとした取り組みを紹介します。

INTERVIEW



チャタヌーガ姉妹都市協会長 カレン・クレイプール氏

過去2年間、チャタヌーガ姉妹都市協会は、私たち全員が楽しみにしている、姉 妹都市間の訪問と受け入れを中断しなければなりませんでした。これらの活動は、 直接会って友情を築く機会となるので、とても楽しみにしているものです。

新型コロナウイルス感染症からは多くの試練を受けましたが、同時に多くの機 会も得たと考えています。もちろん対面での交流を再開したいと願っていますが、 私たちは世界中の友人達とコミュニケーションをとるための新しい方法を見つけ てきています。オンラインが可能にした様々なことに感謝しています。

私たちが着手した最もエキサイティングなオンラインプロジェクトの1つは、 Cultural Cross Tiesと呼ばれているもので、今年で2年目となります。1年目は、 チャタヌーガ市の4人のアーティストと、イスラエルの姉妹都市であるギバタイ ム市の4人のアーティストが選ばれました。オンラインを介してお互いを知ると いう難しさを乗り越えながら、一緒にアートを制作しました。

2年目となる今年は、ドイツの姉妹都市であるハム市とヴォルフスブルク市の 両市と同プロジェクトを行う予定です。その後も毎年、姉妹都市とこの活動を続 けたいと考えています。2023年には遠野市にお声をかけるかもしれません。

INTERVIEW



チャタヌーガ姉妹都市協会役員、 遠野市名誉親善大使 ルイーザ・メシッチ氏(右)と ご主人のラリーさん

2022年、明けましておめでとうございます!

米国内の感染症の状況は、町や州ごとに異なり、チャタヌーガ市が属するハ ミルトン郡では、ワクチン(2回)接種率は53%であり、3回目のワクチン接種 をしている人は相当少ない状況です。デルタ株はテネシー州にとって非常に危 険な状況を生み出し、昨年9月の大部分において、テネシー州は感染者数の割 合が全国ワースト1位でした。感染力の高いと言われているオミクロン株の ニュースもあり、クリスマスや年末年始と言ったホリデーシーズンの冬の感染 の波についての懸念があります。

パンデミックにより30年以上の歴史をもつ学生交流が中断されたことを大 変残念に思っています。遠野市教育文化振興財団と協力して、学生の関心と関 わりを維持するための良い方法を見つけるよう努力しています。

また、チャタヌーガ姉妹都市協会会員に送られた遠野高校邦楽部の箏のパ フォーマンス動画は本当に素晴らしかったです!!!非常に才能ある学生たちだ と感じます! CSAS 校生徒にもこの動画をシェアします。

遠野の皆様に変わらぬ愛情をお送りします。皆様の健康とご多幸をお祈り申 し上げます。パンデミックによる影響が無くなる日を待ち望んでいます。私た ちはこれからも、遠野市とチャタヌーガ市の特別な関係に全力で取り組んでい きます。

Tono Now

遠野高校では「総合的な探求の時間」の授業で、「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」を実施しています。当 財団は「これからの国際交流」という大きなテーマを掲げ、協力団体として5つのグループの活動をサポートし ています。その中の2つのグループでは、直接行き来ができない中で、姉妹都市米国テネシー州チャタヌーガ市 とどのような交流を行うことができるかに焦点を当て、活動しています。

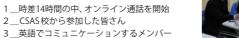
■オンライン交流チーム

遠野市の学生を長年受入している、CSAS (Chattanooga School for the Arts & Sciences)校と、互いの生活や学校など を話題にオンラインで交流しました。CSAS校からは5人の 生徒が参加しました。

<メンバ**ー**>

渡辺隼平さん(1年)、高橋榎乃さん(1年・R元派遣生)、及川 花さ ん(2年・H30派遣生)、小豆嶋旭一さん(2年)、谷地千畝さん(2年)







質問に答えてくれた嬉しさ

速野での取り組みの一例

緊張しましたが、こちらの質問にCSAS 校の生徒が答えてくれた時に嬉しさを感 じました。コミュニケーションの大切さ を改めて知る良い機会になりました。オ ンラインで姉妹都市の仲を深めることに 貢献できたと思います。貴重な体験がで きたことに感謝しています。



高橋 榎乃 さん

及川花さん



伝えようとする気持ちが大切

英語が出てこなくても、ジェスチャー やリアクションなど、相手に伝えようと する気持ちや行動が大切だと改めて感じ ました。画面越しではありましたが、久 しぶりにチャタヌーガの雰囲気を感じる ことができてとても嬉しかったです。必 ずまたホストファミリーに会いに行きた いです!

●日本文化紹介チーム

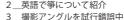
日本文化を紹介するプロジェクトを立ち上げ、今回は遠野高 校邦楽部の協力により、筝について紹介する動画を作成し、 チャタヌーガ姉妹都市協会へ送りました。

<メンバー>

坂本翔さん(2年)、菊池七朗次さん(2年)、山口晴大さん(1年)、 菊池皐了さん(2年)



2_英語で箏について紹介





伝わりやすいよう様々な工夫

主に動画編集と英語訳を担当しました。 伝わりやすいように英語字幕をつけたり、 BGMやイラストをつけて単調にならな いようにしたり工夫しました。チームで 分担して協力し、楽しみながら取り組め たのが良かったです。箏という日本文化 をより多くの方に知ってもらえれば嬉し いです。



試行錯誤した動画を楽しんで

自分が邦楽部員であることから、邦楽 部との調整や機材などを担当しました。 後から編集しやすいように動画の撮影を 行うことを心掛けました。必要な物品の 確認や邦楽部との調整といった準備を念 入りに行いました。カメラワークの難し さなどを感じながら、試行錯誤しながら 頑張りましたので、チャタヌーガ市の皆 さんに楽しんでいただきたいです。

We hope to see you soon!



第31回遠野少年少女合唱隊発表会



12月5日、第31回遠 野少年少女合唱隊 発表会を開催しま した。2年ぶりの発 表会となった今年 は、隊員16名が「い のちのうた」「遠野 のわらべうた」など の9曲を発表し心

温まる歌声が会場いっぱいに響きわたりました。また、ゲ ストにソプラノ歌手の千石史子さんとピアニストの菅原 紀子さんを迎え、冬をテーマにした楽曲が披露されました。 最後には合唱隊との合同ステージで会場を盛り上げました。

遠野文化研究センター・遠野文化友の会共催講座



12月11日、「沢里武

務め、宮沢賢治の愛弟子である沢里武治の生涯や、2人の 交流などについて研究結果を発表しました。また、特別ゲ ストに沢里が設立した愛琴同趣会を迎え、「賢治の精神歌」 などが大正琴の演奏で披露されました。

生涯学習講座「朗読に触れる」

12月18日、こども

本の森遠野いちの

蔵を会場に生涯学

習講座「朗読に触れ

る」を開催しました。

朗読家の岡安圭子

氏とコーディネー

ターの只松靖浩氏

を講師に招き、宮沢



▲一人ずつ朗読を録音し聞き返す



▲ツリーの飾り付けを楽しむ子どもたち

12月18日、キッズ ワールドクラブを 開催しました。この 事業は年中から小 学2年生を対象と し、楽しく英語に触 れることを目的と して年7回開催し ています。今回はク

キッズワールドクラブ

リスマスをテーマに、ゲームなどのアクティビティでクリ スマスにちなんだ単語をたくさん使いました。会場にはク リスマスツリーや装飾、サンタクロースも登場し、子ども 達はいつも以上に英語を楽しんでいました。

遠野市民センターバレエスタジオ第44回発表会 雅な舞で観客を魅了

賢治の「やまなし」を題材に朗読の基本やコツを学びました。

参加者からは「自分の朗読を他人が見てくれることが無かっ

たので、とても新鮮な気持ちだった」「これからも文章を声

に出して読むように心掛けたい」などの声が聞かれました。



▲プロダンサーと共演する受講生

12月26日、遠野市 民センターバレエ スタジオ第44回発 表会を開催しまし た。受講生29名が 色とりどりの衣裳 を身にまとい、1年 間の成果を発表し ました。また、特別

ゲストにバレエダンサーの横内国弘さんを迎え、第1部「小 品集」や第2部「パリの喜びより」で共演しました。第3部 は「クリスマスソングメドレー」と題し、様々なクリスマス の曲に合わせて舞を披露しました。

日本語教室お正月スペシャル



▲福笑いの出来に思わず笑う生徒たち

1月9日に開催し た日本語教室は、お 正月スペシャル。ベ トナムとフィリピ ン出身の生徒たち は、日本語ボラン ティアぽんごのメ ンバーと一緒にし め飾りやおみくじ

など日本のお正月文化を学び、生徒たちからも自国のお正 月料理を紹介してもらいました。福笑いやかるた遊びに続 き、この日一番白熱したのは坊主めくり。どんでん返しに 大いに盛り上がり、笑顔あふれる教室になりました。

里武治と宮沢賢治の深いつながり



治がみつけた「光で できたパイプオル ガン」とは一宮沢賢 治の口語詩『告別』 一」を開催しました。 講師は遠野文化研 究センター研究員 の菊池弥生さんが

上田は自分が主宰する文芸誌『芸

重要性は「目前の出来事」であり「現在の 事実」であるから第八話の舞台となる「サ 連する作品である。『遠野物語』の内容の で『遠野物語』第八話の「サムトの婆」と関

注目した人物がいる。英文学者の上田敏 野物語』発刊三年前)、喜善の文学活動に られたのではないだろうか。

上京して三年目の明治四○年二月○遠

くさん知っていた喜善はおおいに力付け

マになるとす

れば、昔話をた

されていたことによる。昔話が一流の文

いじめの昔話「お月お星」が引

身に似ていたこと、さらに遠野郷にも伝 公の生い立ちが父を早くに失った自分自 この作品が喜善を引き付けたのは、主人 泉鏡花の作品『照葉狂言』にあるという。 作家を志したからである。そのきっかけは 盛岡の医学校を中退して東京に出たのも 作家として自立を目指していた頃である



▲『遠野物語』原稿 柳田國男自筆

格的に『遠野物語』を学ぶ。元岩手県立高校教員前半から、遠野常民大学(遠野物語研究所)で本遠野市出身。遠野文化研究センター所長。40代

それゆえ、このサ いう地名が現実に存 ることになる。 かし、

えり見るとき、誠実そのものであったこ

喜善が柳田に物語を語ったのは二四歳

はさておき、その

人柄は彼の生き方をか

る人なり」と評している。喜善の遠野訛り

「話し上手には非ざれども誠実な

来の館跡に住む一族の宿命を描いた短編を紹介した。この作品は遠野郷の中世以

一ヶ月後には『芸苑』巻三に「館の家』巻二に喜善の作品「長靴」を掲載、そ

遠

喜善を柳田

、その序文に

野物語』の話し手である佐

第二巻に収められている。 連の話をする以前から、「館の家」を構成 雨血の風が吹く時、 紹介すると「山の奥の奥のおり ならない。「館の家」は『佐々木喜善全集 架空の地名サムトを用いたように思えて ではあったが、 は、サムトという名称は『遠野物語』の ムトの婆々・・・・サムトの婆々が居て血の いた。このことから喜善は物語の話し手 する重要な用語としての役割をはたして 本統でせうか」と。喜善にあって 作家志望の書き手として 里の子供を奪りに来 る。その箇所を の家」の一節に

遠野文化フォーラム

いま甦る 原本遠野物語

令和4年 1 月29日 € 13:00~15:00 (開場 12:30)

遠野市民センター大ホール 入場無料(※要事前申込)

申込締切 1月26日(水)

『遠野物語』原稿を写真入りで全文掲 載した初の書籍『柳田國男自筆 原本 遠 野物語』の出版発表や、編集委員による 講演などを行います。

会場販売(予定) 『柳田國男自筆 原本 遠野物語』(岩波書店刊) 価格 5,500円(税込み)



>>> Information

遠野市民センター50周年記念 第47回市民の舞台 遠野物語ファンタジー

きつねの絵筆

遠野市民センター大ホール

2 19 0

開演:午後6時30分(開場:午後5時30分)

開演:午前10時30分(開場:午前9時30分)

開演:午後2時30分(開場:午後1時30分)

般 1,300円(当日1,500円) 高校生以下 600円(当日 800円)

プレイガイド

とぴあ、遠野風の丘、めがねばし直売所、市民センター、みやもりホール、 各地区センター、(一財)遠野市教育文化振興財団 チケットぴあ(Pコード510-232 TEL 0570-02-9999)



<あらすじ>

多賀神社に住む悪戯きつねの松葉。人間に悪戯をして は、食べ物をせしめて腹を満たしていた。そんなある日、 供養絵額の絵師である染慈が通りかかり、松葉はいつも のように悪戯を試みる。化かす松葉に、見破る染慈。化 かしているのか、化かされているのか。染慈への悪戯に 執念を燃やす松葉、物語は意外な展開へ。

令和3年度(第48回)遠野市教育文化振興財団顕賞式 令和3年度(第16回)遠野市体育協会栄賞表彰式

令和4年2月11日(金·祝) 開会:午前10時30分 あえりあ遠野 交流ホール

教育・文化・スポーツなどで活躍した市民の皆さんの功績を たたえる顕賞式と栄賞表彰式を開催します。

今回は規模を縮小し、受賞者及び関係者のみで開催します。

0



意向のとおり活用させていただ **予務局寄附採納担当までお問** 受付しています。 寄附は、個人・法人問 頂戴した寄附金は、寄附者 令和3年12月受付分まで 様 50. 詳 0

新型コロナウイルス感染症の状況により、掲載内容が変更になる場合 がありますのでご了承ください。

お問い合わせは

ご寄附ありがとうございます

遠野市教育文化振興財団(☎0198-62-6191)まで

e-mail mail@tono-ecf.or.jp

http://www.tono-ecf.or.jp/

